

第2次長久手市食育推進計画の目標値と達成状況

※基準値(H27)…計画策定当時の値(食育推進計画内P34「2 数値目標」における現状値)
 ※現状値(H30)…H30実施の中間アンケートの結果値

資料 2

1 食を通じて健康な体をつくるための目標

(状況… ◎:達成、○:改善、△改善見られず)

重点
課題

項目	指標	基準値 (H27)	目標値	現状値 (H30)	評価	現状値の算出方法等	関連する 取組数
①	食育の関心の向上	—	90.0以上	95.4	◎	保護者アンケートの問5を1, 2と回答した割合 【変更】認知している→関心のある	19
②-1	朝食の欠食割合の減少	0.5	0.0	1.4	△	小学校5年生(問2)、中学校2年生(問4)を4と回答した割合	1
②-2	朝食の欠食割合の減少	13.1	9.0以下	11.0	○	「長久手市健康づくり計画(第2次)」中間報告より	1
②-3	朝食を欠食割合の減少	9.9	9.0以下	8.1	◎	「長久手市健康づくり計画(第2次)」中間報告より	0
③	朝食で野菜・海藻を食べる市民の割合の増加	58.3	80.0以上	54.2	△	小学校5年生(問6)、中学校2年生(問8)を1, 2と回答した割合	0
④	食事バランスガイド、食育ガイドの認知度の向上	49.5	60.0以上	80.3	◎	保護者アンケートの問18を1と回答した割合	1
⑤	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加	40.0	60.0以上	30.9	△	保護者アンケートの問23を1と回答した割合	1

2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項目	指標	基準値 (H27)	目標値	現状値 (H30)	評価	現状値の算出方法等	関連する 取組数
⑥	家族や友人等と一緒に食事を摂る市民の割合の増加	—	50.0以上	96.8	◎	保護者アンケートの問15を1, 2と回答した割合 【変更】晩ご飯→一日最低一食、お子さん→あなた自身	9
⑦	農作業に触れる市民の割合の増加	85.6	90.0以上	82.9	△	小学校5年生(問19)、中学校2年生(問21)を1と回答した割合	6
⑧	食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合の増加	—	50.0以上	91.7	◎	保護者アンケートの問16を1, 2と回答した割合 【変更】晩ご飯→一日一回以上	8

3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項目	指標	基準値 (H27)	目標値	現状値 (H30)	評価	現状値の算出方法等	関連する 取組数
⑨	地元の農作物を購入する市民の割合の増加	34.7	50.0以上	31.0	△	保護者アンケートの問26を1と回答した割合	8
⑩	食を通じて環境に優しい暮らしに取り組む市民の割合の増加	—	50.0以上	67.0	◎	保護者アンケート問28を1, 2と回答した割合 【新規】	7

4 食育を支えるための目標

項目	指標	基準値 (H27)	目標値	現状値 (H30)	評価	現状値の算出方法等	関連する 取組数
⑪	食育の推進に関わるボランティア数の増加	219	350以上	244	○	全課対象調査結果	4

第2次長久手市食育推進計画の目標達成に向けた改善策

目標	取組項目	改善策(事務局案)	意見・質問	回答・結果
		H31.1.30(H30第2回支援会議)		R1.7.3(R1第1回部会)
<p>【目標②-1】朝食の欠食割合の減少</p> <p>【目標③】朝食で野菜・海藻を食べる割合の増加</p>	基本目標1-1 ウ「学校における食育の推進」	校長会を通じてアンケート結果を学校(栄養教諭や養護教諭)に伝え、食育に関する取組強化やチラシ配布等の協力を求める。	—	年度当初に校長会と養護教諭部会にて、小中学生の朝食の欠食率が上がったことを報告し、啓発に協力を求めた。(事務局、健康推進課)
	基本目標1-1 ウ「学校における食育の推進」	今後「給食だより」で朝食について特集し、保護者を含めて啓発する。	<p>(1) 給食だよりを読み流さないよう、各学級で読み合わせたり、昼の放送で紹介したりすると良いのではないか。</p> <p>(2) 年に一度でいいのでコラムを抜き出したものを配布してはどうか。</p>	<p>(1) 給食だよりは保護者向けの内容のため、子どもに内容を伝えるよりむしろ、給食だよりが確実に保護者の手に渡るよう指導してもらう方が優先度が高いと考える。子どもに対しては、栄養教諭が学校訪問する際、朝食の重要性について指導してもらおうよう依頼していく。なお、当日の献立紹介については、昼の放送で既に実施している。(教育総務課)</p> <p>(2) コラムの抜き出し等について実施予定はなく、毎回手間をかけて作っているため、既存の献立表コラムや給食だよりをじっくり見ていただきたい。(給食センター)</p>
	基本目標1-1 エ「若い世代を中心とした食育の推進」	健康推進課が成人式で配布している朝食のリーフレットを、若い世代が受ける39歳以下健診でも配布拡充。朝食づくり講座も引き続き実施していく。	小学生よりも中学生の方が朝食の欠食割合が高いため、中学生の保護者への啓発の機会を増やすために、40歳以上の健診でも配布した方がいい。また、PTA総会や懇談会でも配布できないか。	<p>特定健診(40歳以上対象)は既に案内文を発送済。来年度以降については窓口への設置等、別の方法で周知を図る。(健康推進課)</p> <p>(※PTA総会や懇談会での配布は、時間的、人力的に余裕がないため現実に難しい。(教育総務課))</p> <p>なお、6月号広報で朝食について特集ページを掲載した。(健康推進課)</p>
<p>【目標⑤】食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合の増加</p> <p>【目標⑨】地元の農作物を購入する市民の割合の増加</p>	<p>基本目標1-3 ア「食の安全性に関する情報提供及び啓発」</p> <p>基本目標3-2 「地元農産物の積極的な活用」</p>	食の安全性や地産地消についてのリーフレットを作成し、各施設への設置や、既存事業での配布を予定。作成にあたっては近隣大学等と連携するなど、デザインも目に付きやすいよう工夫したい。	—	令和2年1月号広報に地産地消・食の安全についての記事を掲載予定。また、その後は大学等と連携してリーフレットを作成・配布していく予定。(みどりの推進課)
【目標⑦】農作業に触れる市民の割合の増加	基本目標2-3 ア「農業体験の促進」	農地の減少等もあり、学校カリキュラムのなかで必ず農作業を体験させるのは難しいが、鉢植えでのミニトマト栽培等を含め、積極的に取り組んでもらうよう学校に呼びかける。	以前は生産者が、野菜の説明をしながら子どもと一緒に給食を食べる取組もあったが、高齢化等の理由で実施できていないと聞いている。こどもの関心を高めるために是非復活させてほしい。	学校、給食食材生産会と調整しながら、できるところからやっていく。(みどりの推進課、教育総務課)